

世界に貢献する「環境首都とくしま」

- ・すべての学校が「学校版環境ISO」に取り組み、小さな頃から環境問題への理解力と実践力をしっかりと養成しています。地球環境や資源の有限性が認識され、人々が豊かさを実感しつつ、環境に配慮した生活をするライフスタイルや社会経済システムに転換され、環境への負荷が最小限に抑えられています。
- ・家庭生活では、快適さと環境が両立したライフスタイルが広まり、高品質・長寿命の製品を利用するとともに、人々の意識がモノを買うという感覚から機能を買うというものに変化しているため、レンタル、リース、リユース市場が成り立っています。
- ・快適さと環境が両立したライフスタイルが広まり、高品質・長寿命の製品を利用し、また、太陽電池など自然エネルギーを最大限に利用することで、家庭から排出されるCO₂は半減されています。このような「環境首都とくしま」のライフスタイルは、途上国のモデルともなっています。
- ・木材から低コストでエタノールを製造する技術が確立し、徳島はバイオマスの最先端地域になり、アジア地域の環境問題解決にも貢献しています。

将来世代に引き継ぐ豊かな自然

- ・天然ブナ林、数多くの清流、多様な生物を育む干潟、サンゴの見られる海洋など、全国に誇れる豊かな自然環境は、将来世代へと大切に引き継がれています。
- ・下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の普及により、清潔で快適な生活環境が確保され、工場・事業所での排水対策も徹底されています。
- ・豊かな水辺空間が各地に整備され、憩いの場、環境学習の場として多くの人々が利用しています。
- ・間伐が進んだ森林では、スギ・ヒノキの大木のもとに草花が繁茂し、多種多様な生物が生息しています。広葉樹林化も進み、針葉樹に混じったモミジやヤマザクラなどが美しい森林景観を形成しています。ブナ林などの貴重な自然林は大切に守られ、ツキノワグマ・ニホンカモシカなど希少動物の生息エリアが拡大しています。
- ・放置里山林は手入れされ、森林浴など癒しのエリアとして都市住民が積極的に活用しています。

人と地域が輝く「あわ文化」

- ・阿波おどりや人形浄瑠璃などの伝統文化はもとより、地域の生活に根ざした行事、生活習慣などが次の世代へ継承されています。
- ・文化資源を自由な発想で再構築し、新しい価値を生み出す取組も行われ、新しい「あわ文化」を創造しています。
- ・「あわ文化」は、共通の精神的基盤として根づき、その創造と発信を通じ、心豊かに生きるための新たな価値観を提案し、国内外で徳島の存在感が高まっています。

みんなの誇りスポーツ王国

- ・年代を問わず、それぞれの目的や好みに応じてスポーツを楽しんでいます。
- ・ヴォルティスとインディゴソックスは、徳島の誇り、シンボルとして戦い続けながら、多くの日本代表選手やプロ野球選手を輩出しています。
- ・様々な競技で、国際大会などが開催され、次代を担う青少年に夢と活力を与え、世界トップレベルを目指す選手が多く輩出されるなど、競技力は飛躍的に向上しています。

やさしく便利な交通システム

- ・コミュニティバスや乗り合いタクシーなど、誰もが使いやすい公共交通体系ができています。
- ・鉄道の運行本数増やスピードアップ等により、マイカー通勤から利用転換が図られ、通勤時間帯の渋滞が解消されています。

交流ひろがる快適交通ネットワーク

- ・四国内の高規格幹線道路網の整備が進み、近畿圏や四国他県と一体となった快適な高速交通ネットワークが充実しています。
- ・空港拡張で大型機の就航が可能となり、新ターミナルのアクセスが強化され、交流・物流の拠点となっています。また、ソウル便、上海便などの海外定期航路が開設され、日帰り海外出張が可能となっています。
- ・徳島小松島港は、西日本地域との連携の中で国際物流・交流拠点へ発展しています。

魅力的で美しい街、便利でにぎやかな街

- ・高齢者も不便を感じず、徒歩や自転車で暮らせるような利便性、快適性に配慮したまちづくりが進んでいます。
- ・街や周辺地域では、自然や歴史・文化に根ざした景観整備が行われ、個性的で魅力的な地域が形成され、市街地では緑豊かな美しい都市環境の中で快適な都市生活が実現しています。
- ・商店街は、住民参加により運営され、魅力的な店舗づくりが行われています。

行ってみたい住んで良かった農山漁村

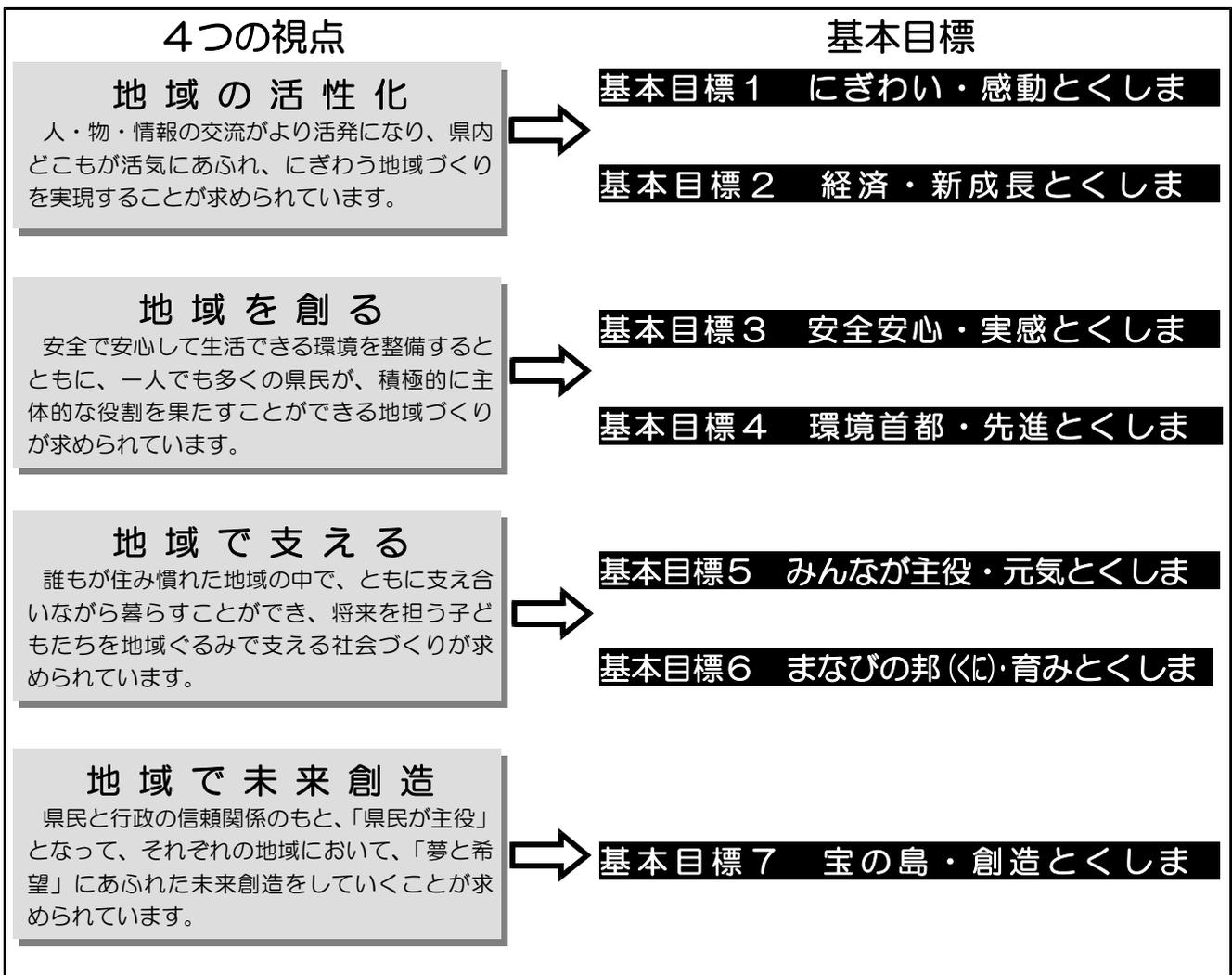
- ・豊かな自然などの魅力に惹かれ、多くの人が農山漁村を訪問しています。
- ・近畿圏で働き、週末には徳島で生活するという二地域居住も定着し、定住する人も増えています。
- ・農山漁村は、多様な生活者に満ちあふれた活気のある場になっています。

Ⅳ 中期プラン・行動計画編

中期プラン編は、「計画の基本理念」及び長期ビジョン編においてお示した「徳島の目指すべき将来像」を実現するために、手の届く未来である「10年程度先」を見据えた「近未来の成長戦略」を掲げるものです。

行動計画編は、中期プラン編で掲げた「近未来の成長戦略」を実現するために、今後4年間に取り組むべき重点施策を明らかにするものです。

「真の分権型社会」の到来を見据え、地域から「幸福あふれる徳島」を実現するため、以下の4つの視点の下、7つの「基本目標」を定め、その実現を目指します。



基本目標を達成するために効果的な施策を重点的に実施することとし、各基本目標ごとにそれぞれ5つから7つの「重点戦略」を設定しています。

行動計画編では、具体的な数値目標や達成年度などの工程を明示しています。

第1 基本目標

計画の基本理念に基づき、以下の7つの基本目標の達成を目指します。

基本目標1 「にぎわい・感動とくしま」 ～地域の活性化～

～「四国と近畿の結節点」に位置する「地の利」と魅力ある地域資源を活かし、にぎわう地域づくりを推進するため、人・物・情報の活発な交流を支える基盤整備を図るとともに、観光をはじめ国内外との交流、文化立県・スポーツ王国づくりを加速し、活気にあふれる「にぎわい・感動とくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 にぎわい・交流とくしまづくり

本県の地理的優位性を活かし、人・物・情報の交流を活発化し、交流人口が増加するよう、高速交通ネットワークの整備をはじめ、新たに整備された交流拠点（空港・港湾）や県内全域に張り巡らされた光ファイバー網の活用等により、県内どこでも活気にあふれ、にぎわう地域づくりを推進します。

2 観光立県とくしまづくり

徳島ならではの魅力を磨き上げ、効果的な情報発信を行うとともに、地域の魅力を活かした観光地づくりや、地域資源を活用した体験型観光の推進などにより、県内外の交流が活発になる「観光立県とくしま」を目指します。

3 国際交流立県とくしまづくり

国際交流により、経済、文化、教育、観光面などの交流を促進するとともに、多文化共生のまちづくりを推進し、「地域からの国際化」を実現します。

4 文化立県とくしまづくり

芸術文化に触れることを通じ、豊かな感性を養うとともに、徳島の風土や歴史に根ざした「阿波文化」を再認識し、豊かで柔軟な発想を持って徳島らしい文化の創造に取り組み、文化資源をさまざまな分野で地域の活性化に活用することにより、「文化立県とくしま」を目指します。

5 スポーツ王国とくしまづくり

プロスポーツチームの活用などを通じたにぎわいの創出や、競技力の強化を進めるとともに、子どもから大人まで、県民すべてが身近にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ社会」の実現を目指します。

基本目標2 「経済・新成長とくしま」 ～地域の活性化～

～厳しい経済情勢を克服するとともに、「徳島の強み」を活かした時代を先取る産業の創出・育成、地域産業の基盤強化、もうかる農林水産業の実現、安定した雇用の確保やあらゆる人が働きやすい職場環境の整備を推進し、世界に誇る「とくしまブランド」が牽引する、未来に伸びゆく「経済・新成長とくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 経済・新成長とくしまづくり

百年に一度と言われる世界的な金融・経済危機から脱却し、県内経済状況の回復を図るため、産業・経済を支える社会資本整備やグローバル化への支援、農林水産業の発展に資する施策の推進など、「経済新成長の礎」を築く取組を進めます。

2 産業活性化とくしまづくり

厳しい経済情勢や危機事象等のピンチをチャンスと捉え、技術開発や人材育成、市場開拓、販売促進などの総合的な支援を図ることにより、しっかりとした産業づくりを推進します。

3 創業応援とくしまづくり

創業支援、ベンチャー企業の育成・支援、経営革新の支援等により、新たな分野に挑戦する起業家やベンチャー企業が、徳島から次々と誕生し続ける活力ある産業づくりを目指します。

4 新産業創出とくしまづくり

産学官連携による研究開発を推進するとともに、本県の特長、ポテンシャル（潜在能力）を活かし、時代を先取る新たな産業の創出・集積を図ります。

5 しごとイキイキとくしまづくり

本県の強みを活かした競争力のある産業の企業誘致を進めるなど、雇用の増加や維持・安定に努めるとともに、誰もが働きやすい環境整備を進めます。

6 ひろがるブランドとくしまづくり

「安全・安心」に裏付けられた徳島産農林水産物の消費の輪を、国内外へ向け、さらに拡大することにより、世界に誇る「とくしまブランド」を確立し、「儲かる農林水産業」を推進します。

7 次世代を支える林業とくしまづくり

川上から川下までが一体となった木材の生産・流通・加工体制の整備をさらに推進し、木材自給率の向上を図るとともに、国内はもとより国外に向けた積極的な販売促進に取り組みます。

基本目標3 「安全安心・実感とくしま」 ～ 地域を創る～

～あらゆる危機事象への迅速かつ的確な対応に向け、南海地震をはじめとした自然災害や新型インフルエンザへの対策、地域医療の再生に向けた抜本的な対策、消費者被害対策や体感治安の向上を進め、誰もが安全で安心して暮らせる「安全安心・実感とくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 安全安心・実感とくしまづくり

地震をはじめとする、県民の生命、身体、財産を脅かすあらゆる危機事象に迅速かつ的確に対応できる体制整備を進めるとともに、犯罪や交通事故から県民を守り、安全で安心できるくらしの実現を目指します。

2 いのちを守るとくしまづくり

今後30年以内に60%程度の確率で発生が予想されている南海地震をはじめ、最近の異常気象や土砂災害などの自然災害から、県民の生命、身体、財産を守るため、防災対策を推進し、「災害に強いとくしま」を実現します。

3 くらしを守るとくしまづくり

消費者被害対策の充実や消費者教育を推進するとともに、食の安全・安心の確立に向けた取組を総合的に推進し、県民が安全で、安心して暮らせる社会の実現を目指します。

4 しっかり医療とくしまづくり

誰もが、いつでもどこでも安心して質の高い医療サービスを受けられるよう、医療体制を整備し、県民が安全で、安心して暮らせる社会の実現を目指します。

5 生涯健康とくしまづくり

子どもの時からの健康支援や生活習慣病の予防、感染症対策の充実等を図り、県民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できるよう、「生涯健康とくしまづくり」を推進します。

基本目標4 「環境首都・先進とくしま」

～ 地域を創る～

～地球環境にやさしい社会づくりに向け、低炭素社会や自然共生社会の形成をはじめ、地球温暖化対策に正面から対応するとともに、豊かな森林づくり、潤いあふれる生活環境づくりなど、「徳島ならではの」先進的な取組を推進し、21世紀「環境の世紀」をリードする「環境首都・先進とくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 環境首都・先進とくしまづくり

すべての県民が、高い環境意識を持って行動するとともに、県民、事業者、行政等が連携した取組を進めることにより、社会経済活動に伴う環境への負荷をできる限り少なくする持続可能な地域社会づくりを目指します。

2 循環型社会とくしまづくり

県民一人ひとりが「環境にやさしい暮らし」を心がけ、廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を促進することにより、限りある資源が循環する社会づくりに取り組みます。

3 安全で快適なとくしまづくり

豊かな自然環境に配慮した美しい景観づくりや、きれいな水環境の保全に向けた取組を推進するとともに、県民の健康を守り、良好な生活環境を保つため、大気汚染や有害化学物質などの生活環境問題に取り組み、「安全で快適なとくしまづくり」を推進します。

4 自然共生社会とくしまづくり

本県の豊かで貴重な自然を将来の世代に引き継いでいくため、適切に保護・保全するとともに、自然の再生や活用を図るなど、自然との共生を目指します。

5 豊かな森林^{もり}とくしまづくり

地球温暖化防止や水源涵養に貢献し、人々の安らぎの場、多様な動植物の生息場所にもなる豊かな森林^{もり}を将来の世代に引き継ぐため「豊かな森林^{もり}とくしまづくり」を推進します。

基本目標5 「みんなが主役・元気とくしま」

～地域で支える～

～ぬくもりとやさしさあふれる「福祉社会の創造」に向け、子育て支援や高齢者・障害者福祉の充実、ユニバーサルデザインの浸透などにより、年齢、性別、国籍、障害の有無に関わりなく、誰もが未来への明るい夢と希望を育みながら、生き生きと自己実現できる「みんなが主役・元気とくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 安心子育てとくしまづくり

子どもたちを大切に育み、子育ての喜びを分かち合える社会を目指して、県民・事業者・行政が一体となって取り組むことにより、子どもを生み育てることに夢を持てる社会づくりを推進します。

2 高齢者生き生きとくしまづくり

本格的な高齢社会においても、すべての県民が安心して高齢期を迎えられ、生涯にわたり健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくりを推進します。

3 障害者生き生きとくしまづくり

障害の種別に関わらず、障害者が必要なサービスを迅速かつ的確に提供できる体制づくりを進め、障害の有無に関わらず、すべての人が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指します。

4 ユニバーサルとくしまづくり

自然にやさしい、利用者の視点に立った公共事業を推進するなど、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、障害の有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、地域に暮らすすべての人が住みやすいまちづくりを推進します。

5 共助・共生とくしまづくり

地域住民が参加する様々な共助の仕組みを強化し、高齢者や障害者はもとより、地域に暮らすすべての人が住み慣れた地域の中で、ともに支え合いながら安心して暮らしていける、こころの通いあう安らぎと共生の地域づくりを推進します。

基本目標6 「まなびの邦・育みとくしま」 ～ 地域で支える～

～21世紀を担う人材創造に向け、学力・体力向上対策や特別支援教育の充実、生涯を通じて意欲的に学習できる環境整備、青少年の健全育成など、「徳島らしさ」をふんだんに盛り込んだ創意工夫を凝らしながら、知性と体力、感性にあふれ、自立した人材を育成する「まなびの邦（くに）・育みとくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 まなびの邦（くに）・育みとくしまづくり

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成等を通じ、将来のとくしまを担う子どもたちが、郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人材となるよう、特色と魅力ある教育を総合的かつ効果的に推進します。

2 個性尊重とくしまづくり

特別な支援を必要とする幼児・児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援・教育を進め、「個」を尊重し「自立」を支援する「特別支援教育の充実」を図ります。

3 みんなのまなびやとくしまづくり

地域に根ざした教育環境の整備を図ることにより、地域に愛され、地域に信頼され、地域ぐるみで子どもたちを支える、新たな時代に対応した安全・安心で活力あふれる学校づくりを推進します。

4 生涯まなびとくしまづくり

生きがいや地域社会への貢献につながる生涯学習の推進により、あらゆる世代がそれぞれのニーズに応じた「学び」を享受できる機会づくりを進めます。

5 青少年育成とくしまづくり

21世紀を担う青少年が夢や目標を持ち、自立した人間として成長するよう、健全な育成を図るとともに、若者がその優れた能力や個性を生き活きと発揮することができる環境づくりを進めます。

基本目標7 「宝の島・創造とくしま」

～ 地域で未来創造～

～誰もが自らの幸福を享受できる社会の実現に向け、公正・公平でオープンな県政を推進するとともに、人権が尊重される社会づくり、NPOとの協働による地域づくりはもとより、「関西広域連合」による全く「新しい国づくり」を先導し、可能性に満ちあふれる未来を創る「宝の島・創造とくしま」の実現を目指します～

●重点戦略

1 誰もが幸福とくしまづくり

同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人などの様々な人権問題の解決に向け、積極的な取組を行い、すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指すとともに、家庭・地域生活や職業生活において、男女がともに支え合い、協力し合う「男女共同参画立県とくしま」の実現を目指します。

2 協働立県とくしまづくり

NPOやボランティア、各種団体、企業など、多様な主体が行政と協働し、役割分担しながら、連携・協力して地域の課題に柔軟かつきめ細やかに対応する地域自立型の社会を目指すため、「協働立県とくしまづくり」を推進します。

3 活力みなぎるとくしまづくり

移住・交流の促進や子育て環境・雇用対策の充実などにより、自立的で活気ある地域づくりを推進するとともに、「関西広域連合」による取組や規制緩和の活用等を進めることにより、地域のにぎわいを創出し、地方が「自らの権限と責任」のもと、「地方のことは地方で決める」ことができる「地域が主役の社会」の実現を目指します。

4 笑顔あふれるとくしまづくり

魅力あるイベントの誘致・開催を目指すとともに、徳島ならではの地域資源を活かしたイベントの充実を図り、笑顔と活気があふれるまちづくりを進めます。

5 希望に向かうとくしまづくり

「県民の目線で仕事をする」職員の意識改革をさらに進めるとともに、徹底した行財政構造改革を加速させることにより、行政と県民の信頼関係を基盤とした「希望に向かうとくしまづくり」を実現します。

第2 施策の展開

1 施策展開にあたっての考え方

基本目標の達成に向け、各基本目標ごとにできる限り目標水準（数値目標）を掲げ、「2 重点戦略の体系」に沿って重点的に施策を展開します。

また、施策の展開にあたっては、

- 雇用の確保や食の安全・安心など、社会経済情勢に対応し県民が優先して求めるものも絶えず変化する時代においては、県民ニーズを的確に把握して、施策に反映させるなど、適切な対応が求められています。

このための、県民との対話やICTなど様々な方法を用い、

社会の様々な変化を敏感に捉える「感性」

- 人口減少・少子高齢社会の到来や「分権型社会」への移行など、社会経済情勢が急激に変化している時代においては、前提条件が変わることにより従来の考え方が必ずしも妥当であるとは限りません。

このための、今後の時代潮流を的確に把握するだけでなく、新たな時代を積極果敢に切り開く

時代を先取りする前例にとらわれない柔軟な「発想」

- 南海地震等の自然災害や新型インフルエンザ等の新たな感染症など、今日、緊急的な対応を要する事態の発生やそのおそれが増加しています。

このような場合に、影響をできる限り最小限に食い止め、県民の生命・財産を確保するための、

時機を逸することなく素早く的確に対応する「行動力」

を「基本姿勢」として取り組みます。

また、

- これまでとかく陥りがちだった前例踏襲主義など行政主導の発想や行動原則を、もう一度県民の立場から見つめ直すという

「県民の目線」

- 二十一世紀「環境の世紀」に積極的に対応するため、環境への影響を考え、その負荷をできる限り少なくしていくという

「環境の視点」

- はじめから、すべての人の多様なニーズを考え、すべての人が安全・安心で利用しやすいように、計画・設計するという

「ユニバーサルデザインの考え方」

- 県民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが幸福を追求することができる社会を目指していくという

「人権尊重の考え方」

の「視点」をあらゆる施策に取り入れます。

2 重点戦略の体系

以下の重点戦略の体系により施策を展開します。

基本目標	重点戦略
1 「にぎわい・感動とくしま」 ～地域の活性化～	1 にぎわい・交流とくしまづくり
	2 観光立県とくしまづくり
	3 国際交流立県とくしまづくり
	4 文化立県とくしまづくり
	5 スポーツ王国とくしまづくり
2 「経済・新成長とくしま」 ～地域の活性化～	1 経済・新成長とくしまづくり
	2 産業活性化とくしまづくり
	3 創業応援とくしまづくり
	4 新産業創出とくしまづくり
	5 しごとイキイキとくしまづくり
	6 ひろがるブランドとくしまづくり
	7 次世代を支える林業とくしまづくり
3 「安全安心・実感とくしま」 ～地域を創る～	1 安全安心・実感とくしまづくり
	2 いのちを守るとくしまづくり
	3 くらしを守るとくしまづくり
	4 しっかり医療とくしまづくり
	5 生涯健康とくしまづくり
4 「環境首都・先進とくしま」 ～地域を創る～	1 環境首都・先進とくしまづくり
	2 循環型社会とくしまづくり
	3 安全で快適なとくしまづくり
	4 自然共生社会とくしまづくり
	5 豊かな森林とくしまづくり
5 「みんなが主役・元気とくしま」 ～地域で支える～	1 安心子育てとくしまづくり
	2 高齢者生き生きとくしまづくり
	3 障害者生き生きとくしまづくり
	4 ユニバーサルとくしまづくり
	5 共助・共生とくしまづくり
6 「まなびの邦(くに)・育みとくしま」 ～地域で支える～	1 まなびの邦(くに)・育みとくしまづくり
	2 個性尊重とくしまづくり
	3 みんなのまなびやとくしまづくり
	4 生涯まなびとくしまづくり
	5 青少年育成とくしまづくり
7 「宝の島・創造とくしま」 ～地域で未来創造～	1 誰もが幸福とくしまづくり
	2 協働立県とくしまづくり
	3 活力みなぎるとくしまづくり
	4 笑顔あふれるとくしまづくり
	5 希望に向かうとくしまづくり
	合計37重点戦略

